

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
現金及び預貯金	1,931	2,819
有価証券	72,736	64,309
有形固定資産	329	270
無形固定資産	2,379	1,898
その他資産	11,340	12,139
繰延税金資産	6,015	5,260
資産の部合計	94,732	86,698
負債の部		
保険契約準備金	74,355	66,520
支払備金	17,280	15,729
責任準備金	57,074	50,791
その他負債	4,424	5,411
未払法人税等	1,160	556
リース債務	0	1
その他の負債	3,263	4,853
退職給付引当金	525	462
役員退職慰労引当金	26	37
賞与引当金	311	575
特別法上の準備金	23	12
価格変動準備金	23	12
負債の部合計	79,666	73,020
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	20,000	20,000
利益剰余金	△24,952	△26,147
株主資本合計	15,047	13,852
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18	△173
評価・換算差額等合計	18	△173
純資産の部合計	15,065	13,678
負債及び純資産の部合計	94,732	86,698

四半期損益計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
経常収益	46,139	50,947
保険引受収益	45,609	50,417
(うち正味収入保険料)	45,580	50,393
(うち積立保険料等運用益)	28	23
資産運用収益	503	511
(うち利息及び配当金収入)	512	517
(うち有価証券売却益)	18	7
(うち積立保険料等運用益振替)	△28	△23
その他経常収益	26	18
経常費用	44,682	49,137
保険引受費用	33,514	37,185
(うち正味支払保険金)	22,092	25,399
(うち損害調査費)	2,702	2,981
(うち諸手数料及び集金費)	789	969
(うち支払備金繰入額)	1,577	1,551
(うち責任準備金繰入額)	6,352	6,283
資産運用費用	116	13
(うち有価証券売却損)	28	12
(うち有価証券評価損)	86	—
営業費及び一般管理費	11,045	11,926
その他経常費用	5	13
経常利益	1,456	1,809
特別利益	27	—
特別法上の準備金戻入額	27	—
価格変動準備金戻入額	27	—
特別損失	3,819	37
固定資産処分損	3,819	26
特別法上の準備金繰入額	—	10
価格変動準備金繰入額	—	10
税引前四半期純利益 又は税引前四半期純損失(△)	△2,335	1,772
法人税及び住民税	248	1,341
法人税等調整額	△638	△764
法人税等合計	—	576
四半期純利益 又は四半期純損失(△)	△1,945	1,195

当四半期の損益状況

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	比較増減	増減率
元受正味保険料(含む収入積立保険料)	45,377	50,133	4,756	10.5 %
(元受正味保険料)	(45,377)	(50,133)	(4,756)	(10.5)
保 険 引 受 収 益	45,609	50,417	4,807	10.5
(うち正味収入保険料)	(45,580)	(50,393)	(4,813)	(10.6)
保 険 引 受 費 用	33,514	37,185	3,670	11.0
(うち正味支払保険金)	(22,092)	(25,399)	(3,307)	(15.0)
(うち損害調査費)	(2,702)	(2,981)	(279)	(10.3)
(うち諸手数料及び集金費)	(789)	(969)	(180)	(22.8)
資 産 運 用 収 益	503	511	7	1.5
(うち利息及び配当金収入)	(512)	(517)	(5)	(1.0)
(うち有価証券売却益)	(18)	(7)	(△10)	(△58.9)
資 産 運 用 費 用	116	13	△103	△88.7
(うち有価証券売却損)	(28)	(12)	(△16)	(△57.0)
(うち有価証券評価損)	(86)	(—)	(△86)	(△100.0)
営 業 費 及 び 一 般 管 理 費	11,045	11,926	880	8.0
(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(11,012)	(11,866)	(854)	(7.8)
そ の 他 経 常 損 益	20	5	△14	△72.4
経 常 利 益	1,456	1,809	352	24.2
(保険引受利益)	(1,082)	(1,365)	(282)	(26.1)
特 別 利 益	27	—	△27	△100.0
特 別 損 失	3,819	37	△3,782	△99.0
特 別 損 益	△3,792	△37	3,754	—
税 引 前 四 半 期 純 利 益	△2,335	1,772	4,107	—
法 人 税 及 び 住 民 税	248	1,341	1,093	439.9
法 人 税 等 調 整 額	△638	△764	△125	—
法 人 税 等 合 計	—	576	—	—
四 半 期 純 利 益	△1,945	1,195	3,140	—
諸比率	正味損害率	54.4%	56.3%	
	正味事業費率	25.9%	25.5%	

(注) 1. 保険引受利益 = 保険引受収益 - (保険引受費用 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ± その他収支
 なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などであります。

2. 諸比率は次の算式によっております。

正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料 × 100

正味事業費率 = (諸手数料及び集金費 + 営業費及び一般管理費) ÷ 正味収入保険料 × 100

(なお、営業費及び一般管理費は保険引受に係るものに限ります。)

種目別保険料・保険金

元受正味保険料

(単位：百万円)

種目	期別	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		
		金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
火災		265	0.6	32.7	215	0.4	△ 18.9
海上		—	—	—	—	—	—
傷害		4,959	10.9	5.3	5,187	10.3	4.6
自動車		40,152	88.5	11.5	44,731	89.2	11.4
自動車損害賠償責任		—	—	—	—	—	—
合計		45,377	100.0	10.9	50,133	100.0	10.5

正味収入保険料

(単位：百万円)

種目	期別	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		
		金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
火災		13	0.0	10.9	9	0.0	△ 24.7
海上		32	0.1	△ 16.0	△2	△0.0	△ 106.6
傷害		5,159	11.3	6.6	5,360	10.6	3.9
自動車		39,997	87.8	11.5	44,557	88.4	11.4
自動車損害賠償責任		378	0.8	△ 12.4	468	0.9	23.7
合計		45,580	100.0	10.7	50,393	100.0	10.6

正味支払保険金

(単位：百万円)

種目	期別	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)			当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		
		金額	増減率	正味損害率	金額	増減率	正味損害率
火災		0	△ 37.6	75.0	0	3.5	72.0
海上		11	△ 35.1	35.3	2	△ 79.7	—
傷害		1,001	11.6	22.1	1,106	10.5	22.8
自動車		20,715	15.5	58.2	23,891	15.3	60.0
自動車損害賠償責任		363	8.8	95.9	399	9.9	85.2
合計		22,092	15.1	54.4	25,399	15.0	56.3

ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	27,097	24,195
資本金又は基金等	15,047	13,852
価格変動準備金	23	12
危険準備金	5	3
異常危険準備金	11,995	10,500
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	25	△173
土地の含み損益	—	—
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
控除項目	—	—
その他	—	—
(B) リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2} + R_5+R_6$	5,252	4,872
一般保険リスク (R ₁)	4,467	4,097
第三分野保険の保険リスク (R ₂)	0	0
予定利率リスク (R ₃)	9	8
資産運用リスク (R ₄)	279	294
経営管理リスク (R ₅)	161	150
巨大災害リスク (R ₆)	615	614
(C) ソルベンシー・マージン比率 [(A) / {(B) × 1/2}] × 100	1,031.7%	993.0%

(注) 上記の金額及び数値は、保険業法施行規則第86条及び第87条並びに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。なお、当第3四半期会計期間末のソルベンシー・マージン比率は、巨大災害リスクの基礎数値の一部を当中間会計期間末と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

<ソルベンシー・マージン比率>

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・こうした「通常の予測を超える危険」を示す「リスクの合計額」(上表の(B))に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(すなわちソルベンシー・マージン総額：上表の(A))の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたのが、「ソルベンシー・マージン比率」(上表の(C))であります。
- ・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
 - ①保険引受上の危険
(一般保険リスク)
(第三分野保険の保険リスク) : 保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険(巨大災害に係る危険を除く)
 - ②予定利率上の危険
(予定利率リスク) : 実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
 - ③資産運用上の危険
(資産運用リスク) : 保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
 - ④経営管理上の危険
(経営管理リスク) : 業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの
 - ⑤巨大災害に係る危険
(巨大災害リスク) : 通常の予測を超える巨大災害(関東大震災や伊勢湾台風相当)により発生し得る危険
- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(ソルベンシー・マージン総額)とは、損害保険会社の純資産(社外流出予定額等を除く)、諸準備金(価格変動準備金・異常危険準備金等)、土地の含み益の一部等の総額であります。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつであります。その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。